

20世紀初頭のニューヨークからカリフォルニア、明治大正時代の東京・横浜・茅ヶ崎、そして高松・札幌…。日米の美しい風景の中に繰り広げられる、哀しくも力強い、一人のアメリカ女性、世界的な彫刻家イサム・ノグチの母レオニー・ギルモアの物語。上映するのは、海外配給版（日本語字幕付き）、102分。

立教大学ジェンダーフォーラム 2014年度公開講演会

映画『レオニー』上映会 & 松井久子監督講演会



日時：2014年6月7日（土） 13:30～16:30

会場：立教大学 5号館5121教室

入場料無料。下記ジェンダーフォーラムHPより事前にお申し込み下さい。（定員250名）



松井久子氏略歴

1946年生まれ、東京出身。早稲田大学

文学部演劇科卒業。「週刊平凡」「アン・アン」等の雑誌ライターを経て、1976年、俳優のプロダクション、有限会社イフを設立。数多くの俳優のマネージメントを手がける。1985年に株式会社エッセン・コミュニケーションズを設立し、プロデューサーとしてドラマ・旅情報・ドキュメンタリー等のテレビ番組を多数企画・制作。

映画初監督作品「ユキエ」（1998年公開）では、アメリカ・ルイジアナを舞台に、45年間連れ添った夫婦の愛と老いの姿を描き、内外の映画祭で高い評価を得る。第2作「折り梅」（2002年公開）では脚本も手がけ、日本の平均的な家族が再生する姿を老人介護を軸に描き、公開から2年間で100万人の観客を動員。全国1350箇所を超える自主上映会が、8年目を迎えた今も続いている。2003年より日米合作の第3作映画『レオニー』企画制作に取りかかり、2009年クランクイン。2010年11月より全国ロードショー上映。

共催 立教大学21世紀社会デザイン研究科